

「八百長と学会会」県議会の改革に向けて3つの提言

1 水面下の根回しを行わず、オープンな議場で意思決定を！

自治体の施策はオープンな議場で決定されねばなりません。しかし、大部分の自治体では議会開会前に行政幹部が有力議員を訪れ議案について内々に了承を得る「根回し」をしておくことが一般的と言います。たとえば2月県議会で審議された乳幼児医療費助成事業の個人負担分がなぜいつ300円に決定されたのか、その詳細な経過は不明です。そこで、知事らに見解を求めました。

(知事答弁) 議案について十分な理解をした上で議会の場で活発に議論いただくために適宜、説明をしている。

(健康福祉部長答弁) 乳幼児医療費助成事業の負担金は議会の付帯決議を受け止め、執行部として300円とし、6月議会の冒頭に報告した。

2 予算編成過程と事業ごとのデータの公表を！

全国各地の自治体が競って予算編成過程を公開しつつあります。不透明性を排し、厳しい財政について県民の理解を得ることが目的です。今の予算書では事業の詳細を読み取ることは困難ですので、事業ごとのデータの開示が不可欠です。

(副知事答弁) 予算編成過程の公表や、事業ごとのデータの公表については、扱うデータの量や事務量を勘案し、公表の手法や範囲について、他県の事例も含めて検討したい。

3 教員採用事件を踏まえ「口利き」の文書化を！

大分県では事件後、口利きした人物名や役職名を公表する要綱を施行しました。千葉県でも本人への合否発表後に依頼のあった議員に知らせたといいますが、地方公務員法などに照らして「問題なし」とは言い切れません。県では議員などからの働きかけを記録し文書化したケースは過去1件もないといえます。公共事業の受発注など県政全般について非公式な接触によるものも含めて議員などから働きかけを受けた場合、記録し公表する制度をつくることを提案しました。

(副知事答弁) 職員一人一人が公務員倫理を保持することが重要であり、その遵守について厳しく指導している。

北海道視察報告

8月、「市民ネット・社民・無所属」会派で北海道視察の折、北海道庁、苫東開発現場などとともに夕張市を訪ね、市議会議長、副議長からお話を伺いました。議会が執行機関への監視機能を果たすことが厳しく問われていることを改めて実感しました。



水俣・千葉展 ~知ることから始めよう

日時：12月10日～28日

午前10時～午後8時

会場：千葉県労働者福祉センター

(千葉都市モノレール「市役所前」駅徒歩2分)

お問合せ：認定NPO法人

水俣フォーラム

電話 03 - 3208 - 3051

水俣フォーラム千葉連絡先

電話 043 - 279 - 9566